

令和6年度足立区地域包括ケアシステム推進会議
第1回認知症施策推進部会

日時：令和6年7月24日(水)

午前10時～午後12時

場所：足立区役所南館12階

1205A会議室

議長：栗田部会長

会 議 次 第

1 開 会

2 認知症施策推進部会の役割 資料 1

3 協議事項

(1) 認知症サポーター拡大計画(案) 資料 2

(2) 足立区チームオレンジの立ち上げについて(案) 資料 3

(3) やすらぎ支援員派遣事業について 資料 4

4 報告事項

(1) 令和6年度認知症月間企画 資料 5

5 その他

6 閉 会

令和6年度 足立区地域包括ケアシステム推進会議

認知症施策推進部会 部会員名簿

(順不同 敬称略)

令和6年7月24日時点

番号	役職	氏 名	フリガナ	選出団体名・所属における役職 等
1	部会長	栗田 主一	アヲ シュイチ	学識経験者
2	副部会長	白川 泰之	シラカワ ヤスヒ	学識経験者
3	委員	内山 真	ウチヤマ マコト	足立区医師会 理事
4	委員	塩谷 総吾	シオタニ ソウゴ	足立区介護サービス事業者連絡協議会 副会長（訪問介護部会部会長）
5	委員	羽田 雅代	ハタ マサヨ	足立区介護サービス事業者連絡協議会 副会長（訪問看護部会部会長）
6	委員	小島 直樹	コジマ ナオキ	足立区高齢者福祉施設連絡協議会 会長
7	委員	鈴木 勉	スズキ ツトム	足立区介護老人保健施設事務長会（レーベンハウス事務長）
8	委員	谷 将之	タニ マサユキ	東京都認知症疾患医療センター センター長
9	委員	大竹 吉男	オオタケ ヨシオ	足立区ボランティア連合会 会長

1 所掌事項

- (1) 認知症支援に係る諸施策のうち、**推進会議で検討すべき事項**について、特に専門的に調査及び研究すること。
- (2) その他認知症施策の推進に関し必要な事項について、調査及び研究すること。

2 推進会議で検討すべき事項

- (1) 認知症基本法に基づく認知症施策推進計画に関すること。
- (2) 認知症の早期診断・早期対応に向けた支援体制の構築に関すること。
- (3) 地域の実情に応じた認知症施策の推進に関すること。
- (4) 認知症の人やその家族の支援ニーズと認知症サポーターを中心とした支援をつなぐ仕組み（チームオレンジ）の整備に関すること。

認知症サポーター 拡大計画（案）

令和6年7月
高齢者地域包括ケア推進課
認知症施策推進係



目的

共生社会の実現

「認知症とともに このまちで いつまでも」

～さまざまな人々が、すべて分け隔てなく暮らしていくことのできる社会～
～ともに支え合い、能力が発揮される活力のある社会～



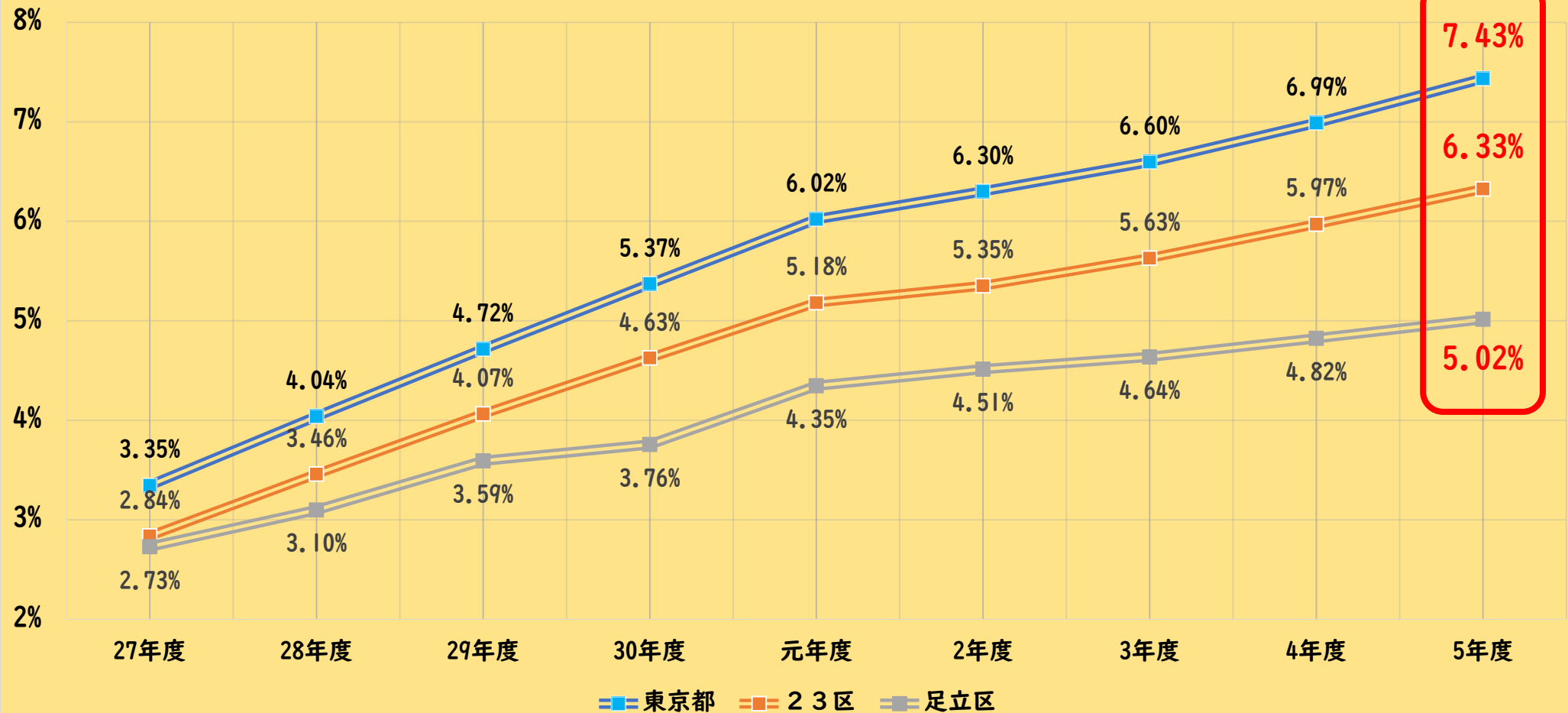
認知症サポーターとは？

認知症サポーターとは、認知症に対する正しい知識と理解を持ち、地域で認知症の人やその家族に対して手助けする人のこと。

認知症サポーター養成講座は、
地域や職域団体等で開催されている。



認知症サポーター 増加の推移



「認知症サポーターキャラバン」実施状況（令和5年12月31日現在） 抜粋

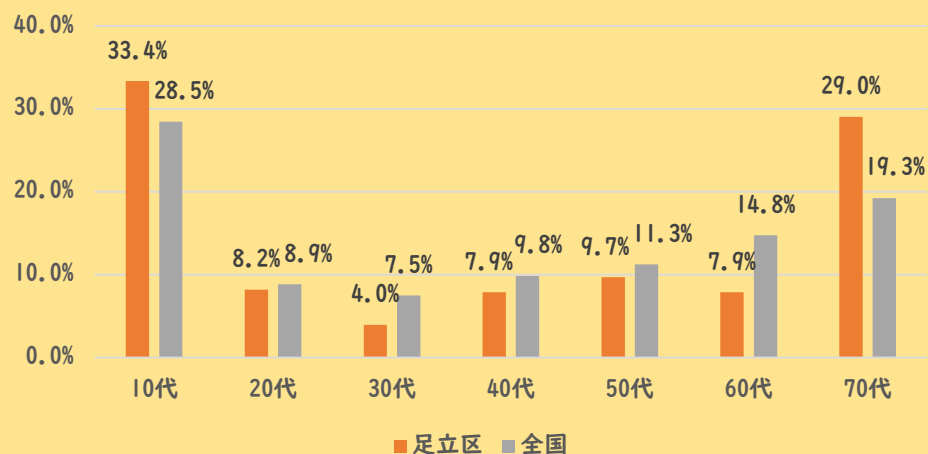
→東京都、23区平均よりかなり低い



現状

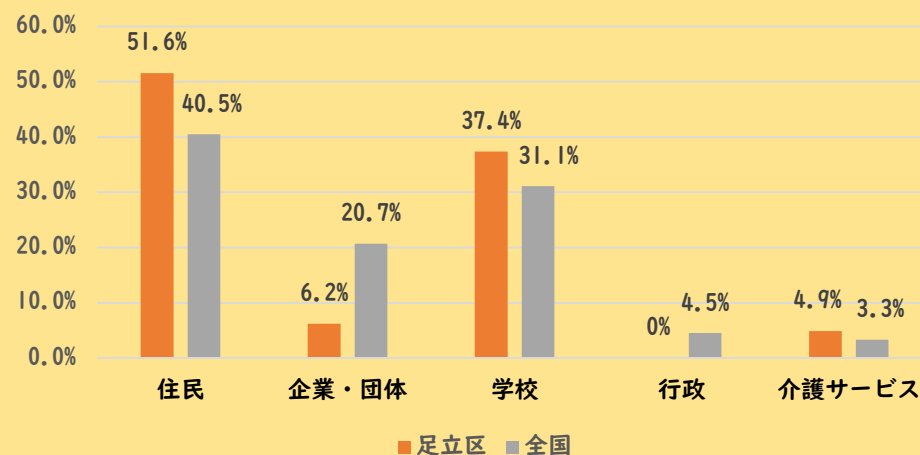
年代別、分類別サポーター割合 全国比較

年代別サポーター割合



→ 20代～60代が少なく、
10代、70代が多い

分類別サポーター割合



→ 全国平均と比較して企業・団体、行政を
強化する必要がある

全国：「認知症サポーターキャラバン」実施状況（令和5年12月31日現在） 抜粋



解決案

企業向けに認知症サポーターの養成を強化

《《
メリット
》》

- 認知症の方に対する接客力向上
- 安心して買い物ができる
- 企業側のPR
- 20～60代サポーター数の増

認知症サポーター
養成講座実施企業には
オリジナル企業向け
ステッカーを配付



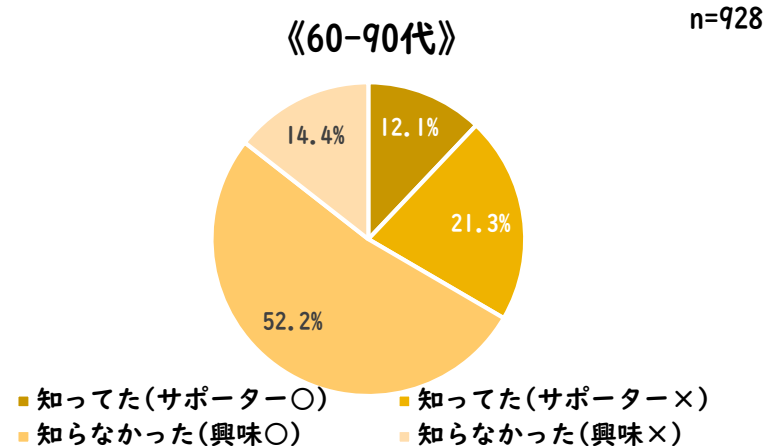
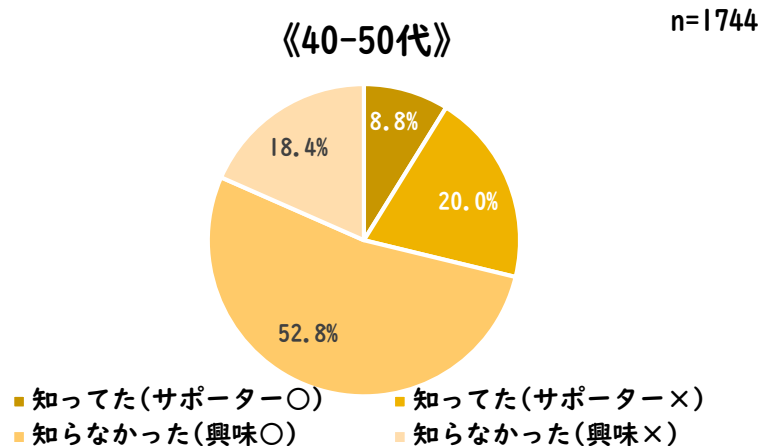
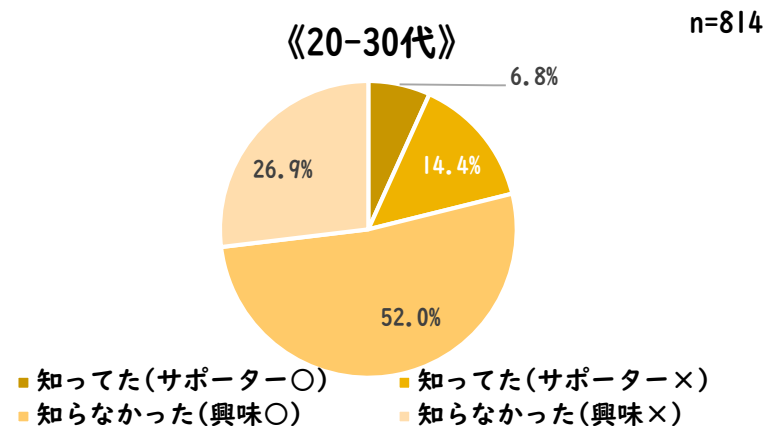
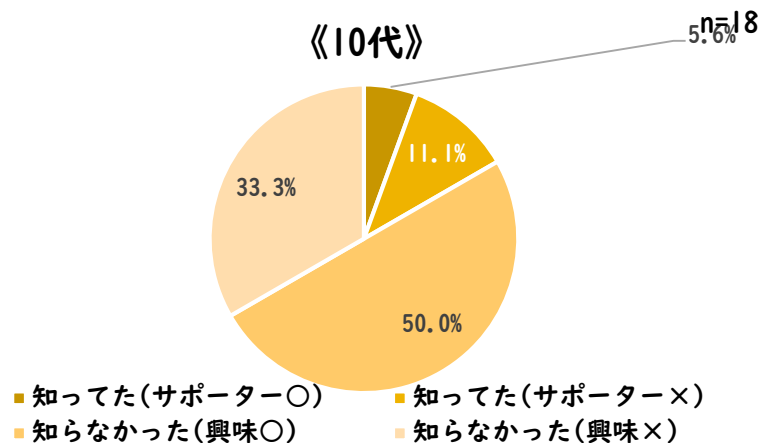
区の職員向けに実施

《《
メリット
》》

- 区民対応力の向上
- 20～60代サポーター数の増



・年代×認知症サポーター認知度



全年代で「知らなかったが興味がある」の回答が最も多く、この層に積極的にアプローチをかけることで、サポーター増につながる可能性がある。

出典：令和5年度認知症施策アンケート調査結果 抜粋 5



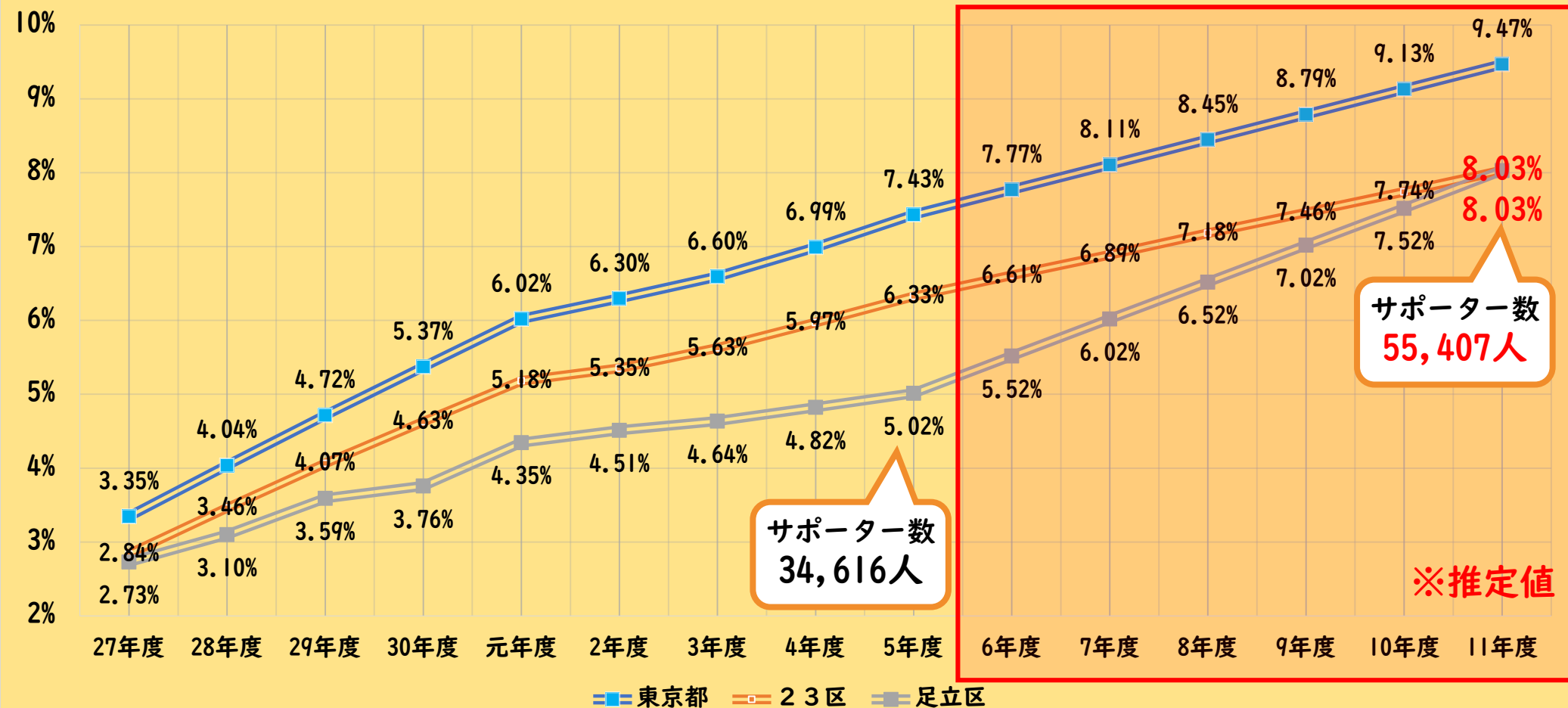
解決に向けた目標設定

令和１１年度末に２３区平均に並ぶ

足立区高齢者保健福祉計画・第１１期介護保険事業計画
にて進捗管理を行う



認知症サポーター 増加の推移



「認知症サポーターキャラバン」実施状況（令和5年12月31日現在） 抜粋



解決に向けた目標設定

令和11年度末に、23区平均に並ぶには…

(区8.03%の数)55,407－(現在の数)34,616＝20,791
20,791÷(年数)6＝3,465

【目標】 1年間で3,500人の新規サポーターを創出



解決に向けた事業実施①

各ブロックで最低1か所企業と連携して
認知症サポーターの養成を強化
その際、管轄の地域包括支援センターを巻き込み
顔つなぎをする

6月中旬～

認知症地域支援推進員が選定した企業へ
説明のため訪問を行う



①の進捗状況

ブロック	ターゲット	これまでの経過
中部	ライフ梅島店 (商業施設)	調整中
東部	日交 美輝 (タクシー会社)	日本交通のグループ会社（従業員200人程度） 複数日で企画予定
北部	サミット保木間店 (商業施設)	調整中 認知症月間等周知について協力の申し出あり
千住	スーパーTANAKA (商業施設)	地元のスーパーで高齢者の客が多い。 3店舗の正社員向けに、7/17、18講座実施
西部	ライドケアサポート (中小企業)	絆のあんしん協力機関登録有り。地域貢献の希望がありホウカツに相談があった企業である。 社員向けに企画予定

絆のあんしん協力機関…通常の業務の中で高齢者に気を配り、気になる方に関して地域包括支援センターへ連絡してくれる機関



解決に向けた事業実施②

足立区職員向けに認知症サポーター養成講座を実施

日時：令和6年9月5日（木）AM

場所：足立区役所中央館2階 庁舎ホール

定員：200名



足立区チームオレンジの立ち上げについて（案）

1 目的

「共生社会の実現」に向けて、認知症本人やその家族のニーズに応じた具体的な支援につなげる仕組みづくり

2 チームオレンジ3つの基本

- ① ステップアップ講座修了及び修了予定の認知症サポーターでチームが組まれている。
- ② 認知症本人もチームに参加している。
- ③ 認知症本人とその家族の困りごとを早期から継続して支援ができる。

3 現状

現在ハウカツで実施している「本人ミーティング」「認知症カフェ」にて認知症に理解のあるボランティアが参加し、認知症本人とその家族の傾聴や見守りを行っている。

4 足立区のチームオレンジ

「本人ミーティング」や「認知症カフェ」をチームオレンジとする
ハウカツ単位での立ち上げ

足立区チームオレンジオリジナルグッズ作成

＊ステップアップ講座修了者への対応

講座修了者にチームオレンジチラシを配付し、チームに参加したい方は圏域のハウカツへ連絡してもらう。

5 今後のスケジュール

令和6年	7月	認知症施策推進部会にて協議
	8～9月	認知症地域支援推進員と打ち合わせ
	9月中旬	東京都チームオレンジチューターとの打ち合わせ
	10～11月	認知症地域支援推進員と打ち合わせ
	12月	地域ハウカツ支援センター長会で「チームオレンジ」について報告
令和7年	1～3月	各地域ハウカツ支援センターとの打ち合わせ

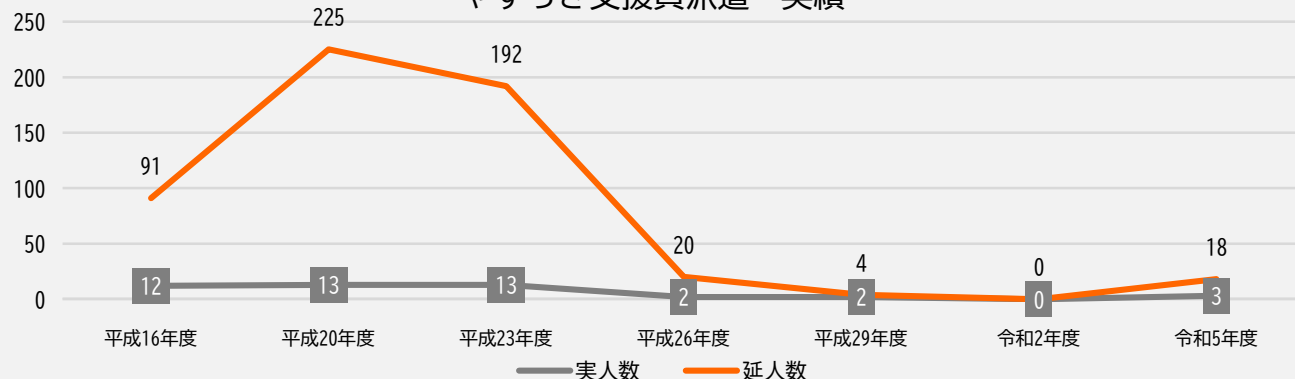
やすらぎ支援員派遣事業について

1 目的

認知症高齢者の近隣に居住する者、ボランティア等が、足立区認知症高齢者家族やすらぎ支援員（以下「支援員」という。）として認知症高齢者の居宅を訪問し、家族が外出や介護疲れで休息が必要なときに、家族に代わって見守りや話し相手を行うことにより、家族の身体・精神・経済的負担を軽減するとともに、高齢者の在宅生活の継続・向上を図ることを目的とする。

2 近年の実績経過

やすらぎ支援員派遣 実績



	令和4年度	令和5年度	令和6年度
支援員数	30人	30人	16人

平成26年以降の介護保険法改正により、地域密着型通所介護や認知症対応型通所介護等が順次創設されるなど、認知症に関する介護保険サービス内容が充実してきた。

3 今後の対応

- (1) 本事業は令和6年度末までとする。
- (2) 現在利用者に対しては、事業終了の説明、同等の介護保険サービスの案内等、利用者に寄り添い支援する。
- (3) 現在支援員として登録のある方に対して、事業終了の説明会を実施する。
今後もボランティアについて希望される方には認知症サポーター養成講座やフォローアップ講座を紹介する。

4 スケジュール

令和6年	7月	認知症施策推進部会にて事業終了に向けて協議
	8月	地域包括支援センター長会にて報告
	10月中旬	*現在の利用者（2名）、支援員への具体的な対応について、担当ホウカツとケア課で検討していく。
令和7年	3月末	登録している支援員（16人）向けの説明会 事業終了

令和6年度認知症月間企画

ターゲット	40代、50代の区民	目的	早いうちから認知症について正しく知るとともに、区の認知症施策の取り組みについての情報を得るきっかけづくりを行う。
-------	------------	----	--

企画内容

X(旧Twitter)、Facebook、LINE、Aメール、あだち広報(8/25号)などを活用し認知症月間をPR

区のホームページに認知症月間特集ページを開設

掲載内容 認知症月間中に行われる区や地域包括支援センターでのイベント情報
認知症サポーターのいる企業の紹介
認知症に関する動画へのリンク など

認知症施策アンケート
(インターネットで実施)

認知症についての意識調査を行うとともに、アンケートを通して事業周知を図る
(R5実績 回答者3,504名)

【プレゼント例】

回答してくれた方の中から抽選で30名に
友好都市物産品をプレゼント

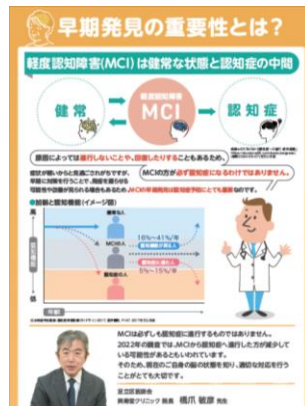


イベント

9/2(月)～6(金)
足立区役所アトリウム

- ◆ 認知症に関するパネル展示
- ◆ 認知症関連リーフレットの配架

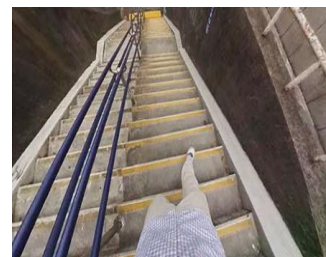
【パネル展示内容】



9/21(土)・22(日)
アリオ西新井

- ◆ 認知症VR体験
時間:10:00～15:00(所要時間約20分)
定員:各日120名(計240名)

【体験の一例】



【階段を下りる】
空間を把握する認知能力などが低下し、段差が下りづらい感覚を視認できます。認知機能の低下した人が階段などの段差でちゅうちょする理由の一端が理解できます。

- ◆ 認知症に関するパネル展示
- ◆ 認知症関連リーフレットの配架

リーフレット・ポスター・啓発ポップ

認知症月間の周知及び認知症への理解を深めるためのリーフレット・ポスター・啓発ポップを作成し配付する。

【配付先】

医療機関・薬局・駅スタンド・スポーツジム
スーパー・区の関連施設 など